

令和2年度 山形歯科専門学校 学校評価書

※ 評価得点欄の値は、校内評価委員会及び同会事務局の全教職員計12名の評価得点を平均したものである。なお、各自の評価得点は次の基準による。

＜適切－4点、ほぼ適切－3点、やや不適切－2点、不適切－1点＞

また、得点の文字色は次の通りである。

青(3.8～4.0)－「良い」、黒(3.5～3.7)－「まあまあ良い」、ピンク(3.0～3.4)－「要注意」、赤(2.9以下)－「改善必要」

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員 の指導及び助言	次年度の改善点
		評価 得点	成果と課題 (「学校自己評価報告書」の略記・抜粋)		
1 教育 理念 ・ 目標	A 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3.9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① コロナ禍のため学校間連携教育や臨地・臨床実習等の校外活動の実施状況が不十分。(A・B・C・E)</p> <p>② 教育課程編成委員会を年2回開催。コロナ禍の学習活動の検討。(A・B・C・E)</p> <p>③ 在籍学生数や入学予定者数が増加の傾向。(A・B・C・E)</p> <p>④ 学校HPのスマートフォン対応。情報公開の取り組み推進。(D)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 保護者へ学校要覧の配付。意思疎通を図る手段(ツール)検討。(D)</p> <p>② コロナ禍下の校外実習や学校間連携交流の在り方を検討。(D)</p> <p>③ 教育課程に運用充実と科目内容の整理等の改善。(E)</p>	<p>1 コロナ禍に係る学習活動の不足部分をどう補っていくか、今後の大きな課題である。</p> <p>2 修学意欲の喚起に繋がるように、人と関わる実習は大切に実施していかなければならない。</p> <p>3 学校の考え方や学校教育目標に対する学生・保護者の理解がもっと深まるように、さらに方策を講ずるべきである。</p>	<p>1 コロナ禍における各種校外実習や教育交流の具体的方策について、当該施設・学校等とともに詳細に検討し、可能な限り実施する。</p> <p>2 「職業実践専門課程」(文科大学大臣認定)をより一層充実させ、特色の明確化や本校教育に寄せられる社会的要請を把握し、各科目の内容を充実させ、学習意欲向上をめざす。</p> <p>3 学生や保護者(家族)との一体感を向上させるため、学校要覧の配付や緊急連絡システムを有効活用するなど、学校情報の共有を図る。</p>
	B 学校における職業教育の特色は何か。	3.9			
	C 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.8			
	D 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3.1			
	E 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか。	3.5			
2 学校 運営	A 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 教育運営委員会(対面会議6回、Web会議3回)、校内評価委員会(対面会議8回)の実施。両者は学校運営統括会議。形歯理事会との連携も円滑。(A・B・C)</p> <p>② コロナ禍における臨時休業措置等学事日程変更、校外実習の可否等、感染拡大状況に応じた対応策実施。本校BCP策定。(C・F)</p>	<p>1 人事・給与の規程内容や教務や財務等の組織整備状況について、教職員間で基本認識の確認が必要ではないか。</p>	<p>1 コロナ禍中の学校運営として、オンライン授業(講演)やWeb会議、また対面・Web併用ハイブリッド方式による各種取り組み等、取組の目的や状況に応じた対応策等を適宜実施する。</p>
	B 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.9			

	C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3. 8	③ 学校評価事業5年目。紙上会議（6月）と対面会議（2月）を開催。10月に感染症対策中間総括資料を作成し報告。（A・B・C）		2 校外における各種実習や学校間連携教育活動について、コロナ禍に対応した活動内容や実施方法をそれぞれ模索する。
	D 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	3. 2	④ 教育課程編成委員会2回（8月・1月）、学校図書室運営検討委員会1回（1月）を開催。学校運営の改善に有効活用。（A・B・C）		
	E 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3. 3	⑤ 学校HPのスマホ対応等全面改良による効果大。専用ブログ・インスタグラムの更新等による広報も有効性を発揮。（G）		3 学校HPでの広報や緊急連絡システムを有効活用し、学校情報の公開や危機管理上の課題に対して、迅速で適切な対応をとる。
	F 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3. 5	⑥ コロナ禍中の学校運営面で、オンライン授業やWebによる会議や講演会等の実施、統計処理の効率化等を含めIT化が前進。（H）		
	G 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3. 9	[今後の課題]		
	H 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	3. 1	① 統計処理等のIT化によるさらなる効率化と業務軽減。（H） ② 各種感染症対策による勤務時間の増大、その対応策検討。（C・D） ③ 今年度は感染症対策に係る状況に応じた危機管理対応の比重が大。次年度に向け、外部識者等の知見の有効活用できる体制整備を。（A・B・C・E）		
3 教育活動	A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3. 9	[主な取組 並びに 成果]		
	B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3. 7	① 感染状況に応じて臨床実習実施の可否を判断。実習施設に大きな迷惑と負担。内容精選や感染防御策徹底等が必須。（D・E・F・H） ② 感染症予防の観点から臨地実習協力校数・同施設数は限定的になったが、内容は充実し達成感を獲得。（B・D・E・F）	1 今後も、臨地・臨床実習の日数不足が予想され、それに代わる学習方法や教材の準備・蓄積等が課題となるのではないかな。	1 臨床実習の実効向上を図るため、実習協力施設との連携を深めるとともに、指導内容の精選と指導方法の共通理解を図る。
	C カリキュラムは体系的に編成されているか。	3. 7	③ 3年「テーマ研究」活動の内容・方式を変更（文献検索中心）。研究発表会はハイブリッド方式（現地・Web）開催。短期間ながら内容が充実、新しい研究活動方式への進化。担当講師Web打合会を4回実施。講師間の連携向上。（D・H）	2 関係学会等における衛生士教育に係る様々な動画等のコンテンツを本校教育の素材としてライブラリー化していく。	2 今後も想定される校外実習の停止等を補う実技系指導の方策について、各学年対応の教育プログラム等を構築する。
	D キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などが実施されているか。	3. 8	④ 感染防御の観点から学校間連携交流の実施ならず。（G・E・F） ⑤ これまでの授業評価の総括的評価に加え、今年度初めて、中間期の点検調査を実施。授業力向上に向けた方策を実施。（G・L）	3 日本歯科衛生士会のWeb研修の各コース等の受講を検討してみようか。	3 教務職員補充について早急に対応するとともに、必要に応じて職員研修を鋭意推進し、教育力充実を図る。
	E 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。	3. 5	⑥ GPAによる学力把握や意欲測定等、精度の高い分析・指導。（I） ⑦ 新型感染症対策による教務職員の全国研修の中止。（M・N）		

	F 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3. 6	<p>[今後の課題]</p> <p>① 感染防御対策による2学年臨床実習が長期間停止。その補完について、次年度に向けた計画立案が必要。（B・D・J）</p> <p>② 歯科衛生の専門性向上と多職種連携への対応に向け、大学や専門学校との連携交流教育を再構築することが必要。（D・E・F）</p> <p>③ 授業評価中間期総括りの有効活用し、講師の授業力向上と学生の学習意欲喚起に繋ぐ。（G・L）</p> <p>④ 学修成績状況にかかる学生への指導と保護者との情報共有。（I）</p> <p>⑤ 中長期的な見通しのもと職員構成を捉え、人材確保を。（K・L）</p> <p>⑥ 教職員の研修機会増大。特に、ICTの知識技術、歯科衛生士教育の在り方、保護者対応の研修等。（M・N）</p>	4 コロナ禍で多大な苦労があったと思われるが、学校運営や教育活動について全体的には満足できる内容と思われる。	
	G 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4. 0			
	H 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3. 9			
	I 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3. 9			
	J 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3. 8			
	K 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3. 1			
	L 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	3. 2			
	M 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3. 3			
	N 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3. 3			
4 学 修 成 果	A 就職率の向上が図られているか。	3. 9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 国家資格100%取得を目標とし、特に今年度は感染防御体制を必須のこととし、健康保持と学修意欲の継続を徹底。（A・E）</p> <p>② 年度当初より臨時休業措置等を実施。未経験の学生生活や学習形態となり、心身の管理と健康維持を主眼とし、Web環境の整備を行い、可能な限り個に応じた指導を実施。学校カウンセラーによる</p>	1 コロナ禍の厳しい状況であるが、国家試験全員合格を願う。	1 歯科衛生士資格獲得に向けた意識付けの強化と就業後の勤務環境等への理解を深めるため、研修会や懇談・面談等の取組を推進する。
	B 資格取得率の向上が図られているか。	3. 9			

	C 退学率の低減が図られているか。	3. 5	面談等も実施。(C)		
	D 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3. 0	③ 社会保険労務士による「就職セミナー」(第3学年)を実施。社会保険や労働条件等基礎的な知識を学習。(A)		2 国家試験全員合格への指導体制をさらに強化し、各種面談を通じた個に応じた指導の徹底を図る。
	E 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか。	3. 1	④ 就職相談等の面談回数を増やし、希望者には面接練習も実施。(A) ⑤ 再就職支援事業のWeb研修会を開催、大反響を獲得。(D・E)		3 同窓生の業績や活躍等を在籍学生に還流し、目的意識の高揚を図る。 また、卒業後1年にわたり適宜事後指導の機会を設け、就業後の充実と早期離職の防止を図る。
			[今後の課題] ① 歯科衛生士をめざす意識向上と専門職の自覚を醸成。(B・C) ② 国家試験全員合格への指導体制の強化と、各種面談を通じた個に応じた指導による自己実現に向けた指導の実施。(B・C) ③ 卒後指導の充実による早期離職の防止。(D) ④ 卒業生の就業状況を把握し、業績や活躍等を学生へフィードバックする機会を設定。(D・E) ⑤ 復職支援に係り、県当局と県歯科医師会・同歯科衛生士会・本校同窓会等との連携による検討。(D)		
5 学 生 支 援	A 進路や就職に関する支援体制は整備されているか。	3. 8	[主な取組 並びに 成果]	1 各担任や教務主任との面談や学校カウンセラーの支援等により、学生の心身のケアをお願いしたい。 2 学校カウンセラーによる教育相談について、保護者への周知を徹底して取り組みを強化した方が良い。	1 本校修学支援事業が4年目となるのを機に制度の拡充を図り、学生の意識高揚と本校志願者の安定的確保に繋ぐ。 2 「高等教育の修学支援新制度」(文科省)、「専門実践教育訓練給付制度」(厚労省)の活用を充実させ、各学生の学業と生活の安定的継続を図り、それぞれの自己実現を支援する。
	B 学生相談に関する体制は整備されているか。	3. 8	① 正副担任教務や教務主任による各種面談を通して個に応じた支援体制の充実。特にコロナ禍における心身の安定を支援強化。(A・G)		
	C 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3. 9	② 修学支援制度(「特待生」「奨学生」)の適正かつ効果的運用。(C) ③ 今年度「高等教育の修学支援新制度」の運用開始。コロナ禍という中で、非常に大きな意義あり。(C・I)		
	D 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3. 4	④ 厚労省「専門実践教育訓練給付」制度の利用者増大。(C・I) ⑤ コロナ禍に係る本校独自の経済支援事業を実施。(1人あたり3万円の給付)(C)		
	E 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3. 1	⑥ 第1学年の夏休み母校訪問を実施。(A・B・J)		

	F 学生の生活環境への支援は行われているか。	3. 3	<p>[今後の課題]</p> <p>① 修学支援事業「特待生制度」を増枠し、学習意欲の向上と経済支援の充実を図る。(C)</p> <p>② 厚労省「専門実践教育訓練給付」の対象学生の増員を。(C・I)</p> <p>③ 「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用、国や県の経済支援事業への適切な対応。(C・I)</p> <p>④ 「就職セミナー」の継続開催。(A)</p> <p>⑤ 経済支援体制諸制度(校内外)一覧表を作成し、広報。(C・I)</p> <p>⑥ 保健室利用の改善。(D)</p>		<p>3 コロナ禍における国や県の経済支援事業について確実に対応するとともに、学生の心身の安定を図るため、各種面談を適宜実施する。</p>
	H 保護者と適切に連携しているか。	3. 0			
	I 卒業生への支援体制はあるか。	3. 5			
	J 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3. 6			
	K 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3. 6			
6 教育環境	A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3. 0	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 感染対策にかかる大教室利用(歯科医師会館講堂・実験室等)や2教室の分散授業等、多様な工夫による授業の実施。(A)</p> <p>② 学校図書室の環境整備による利活用のし易さの増大。(A)</p> <p>③ コロナ禍により、臨床実習施設の訪問や各指導者との面談、指導者会議等が実施できず、意思疎通が不足傾向。(B)</p> <p>④ 緊急連絡システム運用開始により、コロナ禍対策や大規模災害の危機管理に対応が向上。(A・C)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① コロナ禍中における在籍生徒数増加に伴う、教室面積拡大や付属施設の整備に向けた対応が必要。(A)</p> <p>② 旧校舎のトイレ改修や机椅子の整備等の環境整備等の対応。(A)</p> <p>③ ICT関連機器の整備、充実。(A)</p> <p>④ 校内施設設備の定期点検、計画的メンテナンスの実施。(A・C)</p>	(特になし)	<p>1 コロナ禍に対応し、学生数に相応する教室面積を確保するとともに、関連施設の改修を行い、安定的な学習環境を整備する。</p> <p>2 各種校外実習の実施にあたり、協力施設の指導者や担当者との連携を密にとり、実施の可否や内容の適否を適切に判断する。</p> <p>3 リモートによる授業や講義等について、状況に応じた円滑な運用を図ることとともに、関連機器等の整備を推進する。 また、緊急連絡システムのより効果的な運用を図る。</p>
	B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	2. 8			
	C 防災に対する体制は整備されているか。	3. 4			

7 学生 の 受 入 れ 募 集	A 学生募集活動は適正に行われているか。	3. 9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 学生募集要項教員説明会並びに複数回にわたるオープンキャンパスのWeb開催。(A)</p> <p>② 高校主催進路説明会や個別学校訪問等は例年通り実施。(A・B)</p> <p>③ 学校HPの専用ブログやインスタグラムの随時更新による各種学校情報の広報。(A・B)</p> <p>④ 戴帽式・テーマ研究発表会等の報道機関取材による広報(A・B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 高校進路説明会、会場ガイダンス、個別高校訪問、中学校出前授業、各種メディア等による幅広い広報。(A・B)</p> <p>② インスタグラム等の更新に学生からの発信を検討すべき。(B)</p> <p>③ 男子学生や社会人入学の推進。(A・B)</p> <p>④ 中長期を展望し、入学者選抜の方法等を検討。(A・B)</p>	<p>1 ユーチューブやSNS等の活用により、本校の特色をより広範に広報していくことが大切である。</p> <p>2 コロナ禍の社会において、歯科衛生士の役割を十分に広報し、入学志願者の安定的確保をめざす。</p>	<p>1 Web環境を用いた各種取組を工夫するとともに、限られた対面での広報機会について一層充実を図っていく。</p> <p>2 社会人入学の推進や、男子学生の継続的な応募獲得をめざし、広報活動を刷新する。</p> <p>3 学校HPの活用、Web会議システムや緊急連絡システムの効果的運用について、多面的に検討する。</p>
	B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3. 8			
	C 学納金は妥当なものとなっているか。	3. 9			
8 財 務	A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3. 4	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 本校の財務管理、並びに校内外の各種経済支援制度の運用やコロナ禍における国や県による支援事業の適切な執行。(B)</p> <p>② 学校HP上への財務状況の公開。(D)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 「高等教育の修学支援新制度」(文科省)「専門実践教育訓練給付制度」(厚労省)のさらなる有効活用。(A)</p> <p>② 本校特色の広報の実を挙げ、入学者数の増大を図る。(A)</p> <p>③ 日常的経費節減による安定的な経営環境作り。(A・B)</p> <p>④ 本校独自の修学支援制度の内容改善の検討。(A・B)</p> <p>⑤ 中長期的な展望に立った教育環境改善の検討。(A)</p>	(特になし)	<p>1 「高等教育の修学支援新制度」(文科省)や「専門実践教育訓練給付制度」(厚労省)の適切な運用、本校修学支援制度の拡充等により、入学者の安定的確保をめざす。</p> <p>2 コロナ禍における国や県の支援事業への適切な執行をめざす。</p> <p>3 日常的な経費節減を心がけ、より安定的な経営環境を構築する。</p>
	B 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。	3. 6			
	C 財務について会計監査が適正に行われているか。	3. 8			
	D 財務情報の公開の体制整備はできているか。	3. 8			

9 法令等の遵守	A 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3. 9	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、学校図書室運営検討委員会において企業等委員や外部有識者の知見等を学校運営に反映。コロナ禍により書面での開催もあり。(A・C)</p> <p>② 学校評価事業5年目。学校運営や教育内容の改善向上とともに、学校HP上の事業公開による社会的な信頼の獲得。(A・C・D)</p> <p>③ 学校HP上「情報公開」欄での学校情報の公開。(A・C)</p> <p>④ 「個人情報保護方針」の公開(学校HP)。(B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① 公開情報に係る保護者や一般への周知拡大。(D)</p> <p>② SNS、携帯電話等使用時の情報管理に係る指導の徹底。(B)</p>	1 学校評価事業について、適正に行われていると思われる。	1 コロナ禍の学校運営等について、企業等委員や外部有識者等より指導助言を受け、適正な運営をめざす。	
	B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3. 8				2 学校評価等を含めて各種学校情報の公開を推進し、学校運営の適正化と客観化を図る。
	C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3. 8				3 SNSや携帯電話使用時の情報管理について指導を徹底する。
	D 自己評価結果を公開しているか。	3. 8				
10 社会貢献・地域貢献	A 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3. 2	<p>[主な取組 並びに 成果]</p> <p>① 学校周辺の清掃ボランティア(7月・12月)の実施。(B)</p> <p>② コロナ禍における各種学校行事や「花笠祭り」等地域行事の中止により地域貢献の機会が不足。(A・B)</p> <p>[今後の課題]</p> <p>① Web(YouTube等)利用による地域への発信の検討。(A・B)</p> <p>② 第3学年「テーマ研究」発表会のWeb公開の推進。(A)</p> <p>③ 「歯科専祭」の実施方法再検討。(A)</p> <p>④ 各種団体や企業との連携による活動内容の向上。(A・C)</p>	1 今年度はコロナ禍の環境により、十分な地域交流等ができなかったが、次年度については方策の工夫を含めて検討する必要がある。	1 コロナ禍における地域参加やボランティア等について、実施可能な具体策を検討する。	
	B 学生のボランティア活動を奨励や支援をしているか。	3. 3				2 Web(YouTube等)利用による地域交流や情報発信等を図る。
	C 地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等含)の受託等を積極的に実施しているか。	3. 4				3 第3学年「テーマ研究」の内容や学習方法等についてWeb利用をさらに推進し、公開性を向上させ、地域発信を充実させる。
						2 地域行事・学校行事ともに、次年度の実施に向けた学生の期待が実現するように願う。
			3 全体的に、一般社会や地域における貢献活動の評価向上を期待する。			